

# 令和 7 年度 sakura 保育園

## とうきょう すくわくプログラム 活動報告書③

園名	sakura 保育園
活動③	2026年3月12日
活動クラス	全クラス 0・1・2 歳児クラス
年間のテーマ	音

### 1. 活動のテーマ

〈テーマ〉 音

〈テーマの設定理由〉

・日頃から音に興味を持つ姿がみられるため、音に関する好奇心・探究心を更に伸ばしていきたいと思った。

### 2. ねらい

- ・子どもたちの「伸びる・育つ」と「好奇心・探究心」を応援する。
- ・子どもたちが自分で考え行動し、自ら答えを見つける力を養う。
- ・子どもたちが自分自身のアイデンティティを形成し他者との共生を学ぶ。
- ・実生活で役立つスキルを身に付けていく。

### 3. 活動スケジュール 〈1～3月〉

#### ① 3月12日、(13日、17日) 「楽器製作」

- ・前回の「手作りマラカス製作」と同様の素材、3種類の容器を用意し楽器を製作する。
- ・前回の活動を振り返りながら素材を見せ、楽器作りへの関心を引き出す。
- ・見本の楽器を見せ、どんな音が聞こえるか尋ねて反応を観察する。
- ・素材や楽器の種類を選んで製作し完成するまでの様子を観察すると共に、写真や動画に収める。
- ・昼礼・週案・月会議にて、子どもの遊びの様子や反応、気付きを共有する。
- ・活動内容の成果と評価を写真と共に記録に残していく。

## ② 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・米、小豆、マカロニ、鈴、ビーズ、プリンカップ、円型容器、ペットボトル
- ・それぞれの楽器がイメージしやすいよう、見本を用意する。
- ・大きめの紙皿に素材を入れることで、自由に見たり触ったりできるようにする。
- ・活動に集中できるよう、机上で少人数で取り組める環境に整える。

## 4.探求活動の実践 〈活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり〉

- ・見本の楽器で音を鳴らしてみると、聞こえた音をそれぞれ言葉や仕草で表現していた。
- ・見慣れない食材に興味を示していた。
- ・小豆や米など、小さい素材を口に入れようとしていた。
- ・ビーズや鈴など、キラキラしている素材を見ると、指差しをしながら早く触れたい気持ちを保育者にアピールしていた。
- ・紙皿に入っていた鈴を両方の掌全体で触れていた。
- ・紙皿の中に手を入れてかき混ぜ、素材同士がぶつかり合う音を楽しんでいた。
- ・完成した楽器を激しく振って、音を楽しんでいた。また、見本の楽器も手に取って一緒に鳴らしていた。
- ・音の違いより、大きな音を出して喜ぶ姿が見られた。

### 【活動の様子】





## 5.振り返り

- ・食材を全て混ぜ楽器を作ることも楽しんでいたが、素材ごとに分けて作ってみるのも良いと思った。
- ・楽器の容器が同じような素材であったので、違う種類の素材を使っても面白かったと思う。
- ・少人数(2, 3人)で行ったにで、子どもの様子がよく分かった。
- ・縦割りで行ったが、同じクラス同士でも行い様子の違いを見てみたかった。
- ・普段あまり触れることのない差沿いを使ったことで新鮮な体験ができていたと思う。
- ・容器がへこみやすく持ちにくかったかもしれない。